

# 令和6年度上尾市政策企画提案事業評価一覧

事業名	事業概要	6年度予算 (千円)	1次評価 (担当課)	事業 年度	2次評価	2次評価コメント【一部抜粋・要約】 (事業実績・効果等)
			達成度			
手話言語条例推進事業	希望する小学校と中学校への手話学習を実施する。 ※平成31年度に認定されて令和2年度から令和4年度までの実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため、令和4年度から令和6年度までの実施期間に変更となった。	407	○ 達成	R4 ～ R6	令和6年度で終了。	関係団体とともに県内初となるテキスト(冊子)を作成し本テキストを活用して手話学習を市内3校で実施するなど手話学習を推進してきたところである。 今後は、テキストを市HPに掲載し活用するとともに、本事業は社会福祉協議会と連携し、社会福祉協議会の福祉体験教室事業に引き継ぎ、市事業としては今年度をもって終了することとする。
防災情報等配信事業	一斉情報配信システム(すぐメールPlus+:パイザー(株)製)を導入することで、災害時及び訓練時における市民への情報配信を迅速に行う。	700	○ 達成	R5 ～ R7	継続実施。	1回のシステム入力で、様々な媒体へ防災情報を同時に配信することが可能となる一斉情報配信システムを導入し災害時における市民への情報発信を迅速に行うものである。 本システム導入により正確でスピーディな情報発信が可能となるとともに、職員の負担は1/6に軽減。 令和5年度は、10月1日にシステム導入し、1回利用。 令和6年度は、12月16日現在、13回利用した。 次年度も、積極的に利用することとする。
高齢者優待カード事業	高齢者の外出機会を増やすことで日常生活に潤いを与えるとともに、要介護・要支援率の抑制により、健康寿命の延伸を図ることを目的とし、65歳以上の高齢者が協力店舗で「高齢者優待カード」を提示すると優待サービスが受けられる制度を創設する。	0	△ 一部達成	R5 ～ R7	継続実施。	令和5年度に特定財源を最大限活用し、カード55,000枚、協力店舗ステッカー500枚を作成した。 協力店舗は、100店舗を超えた。 カード発行枚数の目標値は、3年間で27,800枚【(対象者63,560人-要介護者8,000人)/2】であり、現在、目標値の1/3程度となっている。 次年度も、カード発行枚数の拡大に向けた周知や、65歳到達者へプッシュ型でカード発行していくこととする。
キャッシュレス決済導入事業	上尾市ICT化推進計画に基づき、「市民の利便性向上」を図るため、市民課、証明書発行センター、各支所・出張所の窓口(9カ所)において、キャッシュレス決済端末とセミセルフ型自動釣銭機を導入し、手数料の納付についてキャッシュレスでの納付を可能にする。	3813	△ 一部達成	R5 ～ R7	継続実施。	目標値はキャッシュレス決済利用率とし、当初、令和7年度10%としていたが、すでに19%とこの値を達成したため、新たに目標値を25%としたところである。 また、本事業は迅速性・正確性により市民の利便性向上や業務軽減に結びついていることから、次年度も、PRに努め、キャッシュレス化を推進していくこととする。
「上尾の摘田・畑作用具」展示施設整備事業	市制施行65周年を機に、上尾市自然学習館の展示室の一部を改修し、国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」をはじめとして、常設で上尾市の自然、歴史及び文化を紹介する展示内容にリニューアルする。また、今回の改修を機に、上尾市の歴史・文化の普及・啓発の拠点として、自然学習館を活用していく。	0	△ 一部達成	R5 ～ R7	継続実施。	今年度は、ワークショップやセミナーを開催。小学校1校が来館した。 来館者数が44,678人(R5.12.1～R6.11.30)であり、目標値である前年同時期38,681人を上回った。 次年度は、自然学習館の情報提供を推進していくこととする。
図書館資料整備事業	「上尾市図書館りんごの棚」を中心とした「誰もが本と出会える図書館」の実現に向け、読書の障害を解消するため、必要な資料を充実してすべての人の読書環境を整備する。	451	○ 達成	R5 ～ R7	継続実施。	図書館に、すべての利用者が障害の有無にかかわらず、読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようコーナー(りんごの棚)を令和5年度は図書館本館、令和6年度は駅前分館に整備。コーナーには、大活字本、点字本、LLブック(絵多用)、マルチメディアデジを配置。 目標値である令和6年度貸出件数470点を達成することができた。 次年度も、分館にコーナー整備を推進していくこととする。

事業名	事業概要	6年度予算 (千円)	1次評価 (担当課)	事業 年度	2次評価	2次評価コメント【一部抜粋・要約】 (事業実績・効果等)
			達成度			
ICTを活用した上尾市史等発信事業	上尾市図書館に所蔵されている郷土資料(書籍)をデジタル化し、上尾市電子図書館に掲載する。図書館本館にデジタルサイネージを導入し、電子化した郷土資料を発信する。生涯学習課で所蔵するデータ化された古文書・古記録などの資料についても当電子図書館に掲載し、デジタルサイネージでも発信する。	90	△ 一部達成	R5 ~ R7	継続実施。	郷土資料(書籍)34タイトルをデジタル化している。資料貸出件数について、令和6年度は、10月31日現在101件であり、目標値である204件を下回っている。しかしながら、デジタル化により、市民の利便性は向上している。次年度は、郷土資料(書籍)の更なるデジタル化(タイトル増)を推進していくこととする。
被災者生活再建支援事業	大規模災害が発生した際に被災者の生活を迅速に再建するために必要なシステムの構築	13617	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	国通知において、1ヶ月を目途に調査を行い、罹災証明書交付が行われるとなっている。今回、システムを導入・整備し、迅速性・正確性を確保し、本目標をクリアできることとなった。従来の半分程度の時間で対処できる。次年度は、職員研修を実施し、いつでも対処できる職員体制を構築することとする。
LoGoAIアシスタントbot版の導入	現在利用中のビジネスチャットツール「LogoChat」に搭載される生成AI機能利用し、行政サービス向上のために必要な、職員の業務効率と質の向上を図る。	2213	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	令和6年度は、効率化できた時間数は117時間/月であり、システム使用料(月額)=60.4時間/月を上回るものとなった。次年度は、電子掲示板で周知及び勉強会開催などにより、LoGoAIアシスタントbot版の活用を推進していくこととする。
上尾市LINE公式アカウント活用事業	LINE SMART CITY GovTechプログラム(LINE公式アカウント機能拡張システム)を導入し、市のLINE公式アカウント上で各種行政手続きを行えるようにするもの(キャッシュレス決済含む)。	1694	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	令和6年12月より、運用開始。本年度の申請等の実装機能数は22機能であり、目標値である20機能を達成している。次年度は、手続き等の機能拡大を図るとともに、利用拡大に取り組むこととする。
災害時情報集約・リアルタイム映像共有事業	災害対策本部及び主要な指定避難所において、円滑に情報収集・状況判断を実施するために必要な資機材及びシステムを導入するもの。	29614	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	本システム導入により、地図情報や写真などの情報を一元管理が可能となるとともに、各拠点間の円滑な情報共有が可能となる。令和6年度は、9月1日にシステムを導入・整備し、本システムを活用した訓練を実施。次年度は、2カ月に1回程度、本システムの操作訓練を実施するとともに、平時より、出先機関との会議に使用するよう周知する。
ひとり親家庭等養育費確保支援事業	養育費に関する公正証書等作成経費やADRを利用した相談費用の補助により、離婚前後の父母に養育費取決めの債務名義化を促進するもの。また、養育費の履行確保を支援するため養育費保証契約の費用を補助するもの。	700	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	養育費にかかる①公正証書作成経費、②ADRを利用した相談費用、③保証契約費用を補助(上限5万円)するもの。県内で①~③すべて実施は、春日部市、久喜市、幸手市、上尾市の4市。令和6年8月より、運用開始。目標は、補助金支給者が養育費を受け取った割合100%であり、現在、補助金支給者4人すべてが、養育費を受け取れている。次年度は、わかりやすいチラシを作成・配布するとともに、市HP、SNS等で周知し、補助金支給者の増加に結びつけることとする。
おむつサブスクサポート事業	公立保育所でおむつのサブスクリプションサービスを導入することで、オムツに一枚一枚児童名を記入し保育所に持ち込む保護者側の負担や、児童ごとに管理する必要がある保育所側の負担を軽減することで、保育しやすい環境を提供する。	0	○ 達成	R6 ~ R8	継続実施。	令和6年10月より、運用開始。令和6年度は、0歳児加入率66.7%、保護者満足度97.4%であり、それぞれの目標値である50%、80%を上回ることができた。次年度は、入所説明会や保護者会などで周知を図り、利用拡大に取り組むこととする。

事業名	事業概要	6年度予算 (千円)	1次評価 (担当課)	事業 年度	2次評価	2次評価コメント【一部抜粋・要約】 (事業実績・効果等)
			達成度			
保育所英語 体験事業	小学校就学前の未就学児の時から、歌や日常の遊びの中で英語に触れることで、今後(小学校)の英語教育必修化にスムーズに対応できるようにしていく。	17109	○ 達成	R6 ～ R8	継続実施。	県内初となる市内全保育園・所を対象とした英語体験事業を通して、小学校の英語教育にスムーズに対応できるようにするもの。 令和6年10月より、公立全12保育所及び私立保育園等27園で英語体験事業を開始。 令和6年度は、実施保育施設割合90.7%、英語体験が楽しいと回答した割合92.6%であり、それぞれの目標値である80%、80%を上回ることができた。 次年度は、未実施の私立保育園4園に対して、周知を図り、事業拡大に取り組むこととする。
農産物販売 機管理運営 事業	上尾市役所本庁舎1階に地元農家から提供を受けた野菜等を販売する自動販売機を設置する。	934	○ 達成	R6 ～ R8	継続実施。	令和6年11月に導入・設置。 このことにより、新規就農者における販路拡大、顧客獲得といった課題への支援や市内農産物のPR、地産地消に向けた取り組みへの推進につながる事が、期待できる。 今回、新規就農者6人が参加しており、評価できる。なお、売れ残るものがあることが、課題である。 次年度は、売れ残る品種に留意しつつ、本事業を継続実施することとする。
丸山公園整 備事業	アフターコロナにおける上尾丸山公園の賑わい創出の取り組みの一つとして、動物と触れ合うことができる広場を管理事務所横の雑木林に整備する。なお、令和6年度は試験的にヤギを飼育展示するとともに、園地内の除草も行う。	2638	○ 達成	R6 ～ R8	継続実施。	令和6年7月20日～9月2日実施。 目標値、来園者数15,000人のところ、実績16,568人であり、目標を達成した。ヤギ飼育エリアには、1,089人の来場があった。 アンケート(217件)で、①再度、ヤギを見にきたい99%、②知り合いや友人にすすめたい81%、③期間延長を望む97%であった。 次年度は、アンケート結果を考慮していくこととする。
上尾駅冷却 ミスト設置 事業	近年の地球温暖化の進行により記録的な暑さが続くことが頻発していることから、ヒートアイランド現象の緩和や熱中症対策のためミストシャワーを駅前に設置し、快適な駅前環境の整備を行うことを目的とします。	35000	△ 一部 達成	R6 ～ R8	継続実施。	令和6年8月～9月稼働。 目標は、ミスト噴霧エリアの気温を2～3℃低下させることである。平均値で東口0.7℃、西口2.4℃であった。 アンケート(578件)で、22%の方がミスト設置に肯定的であった。また、39%の方が改善を求める意見であった。 このなかで、東口は風でミストが流れて効果なし。西口はノズルの位置が高い。という意見があった。 次年度は、目標達成に向けて改善等を進めることとする。
部活動地域 移行推進事 業	部活動地域移行推進事業の一環として、文化芸術に係る地域クラブ活動の設置第1弾として、「イングリッシュサロン～小さな外国～」(英語クラブ)を設立する。	13330	○ 達成	R6 ～ R8	継続実施。	部活動地域移行推進事業の一環として、全国初となる文化芸術に係る「イングリッシュサロン(英語クラブ)」を設立し、令和6年7月から、6会場にて実施。 各会場における参加者数20人以上の目標は6会場のうち2会場が達成、参加者の満足度85%以上の目標は97.7%であった。 次年度は、今年度の課題に対応していくこととする。
外国人市民 受入環境整 備事業	外国人市民向けに、税や保険、ゴミ出し、自治会や防災などに関する動画を12言語で作成し、日本で生活する上で必要な知識が身につくよう支援する。	3460	○ 達成	R6	単年度の提案事業のため、令和6年度で終了。	令和6年11月1日動画を公開。 再生回数は、12月12日現在892回で、目標値を上回っている。 本事業は、単年度の提案事業であることから、令和6年度で終了となる。 次年度は、本動画に対応すべく、市HPを充実するとともに、6言語を12言語に対応できるよう努めることとする。

事業名	事業概要	6年度予算 (千円)	1次評価 (担当課)	事業 年度	2次評価	2次評価コメント【一部抜粋・要約】 (事業実績・効果等)
			達成度			
中心市街地 回遊性強化 事業	上尾駅を中心とした中心市街地の活性化を目的に、地域を回遊するための「ARスポット」を設置し、スタンプラリーを実施する。	1218	○ 達成	R6	<b>単年度の提案事業のため、令和6年度で終了。</b>	スタンプラリー参加者が1,048人であり、目標値500人を達成することができた。また、上尾市推奨土産品・上尾串ぎょうざの販売に寄与した。本事業は、単年度の提案事業であることから、令和6年度で終了となる。次年度は、本事業を検証し、施策・事業の展開に結びつけていくこととする。